



樹妙だより

No.191 2021/10.11



慈悲喜捨

10月は和名で「神無月（かんなづき）」と言い、全国の神様が出雲地方へ集まって人々の将来について話し合うとされています。そして、11月は「霜月」と言い、霜が降り始める頃という意味があります。「立冬」を過ぎると暖かな小春日和（こはるびより）と寒い日を繰り返しながら寒さが深まり、冷たい風に落ち葉が舞うようになると虫や動物たちは冬眠に入ります。そして、秋の収穫を祝い感謝する西の市（とりのいち）や、宮中では天皇陛下による新嘗祭（にいなめさい）なども行われます。

また、11月15日は「七五三」です。その起源は、室町時代の「帯解きの義」（おびとぎのぎ）と言われ、女兒から子どもへの成長を祝い、幼児用のひも付きの着物から、帯結びをした着付けに変わります。昔は、子どもが無事に成長することが容易なことではなかったため、7歳は大事な節目の年とされていました。そのため、子どもの節目の歳とされる3歳、5歳（男の子）、7歳（女の子）の年に、神社に参拝して感謝の心を捧げてお祝いをしたということです。

江戸時代の将軍「徳川綱吉」は、11月15日に長男の徳末が無事に成長するように祈って袴着（はかまぎ）の儀式を行いました。これは、5歳になった幼児に初めて袴をはかせる儀式で、秋の収穫で縁起のよい11月に、七と五と三を足して15日にしたという説があります。しかし、最近では11月15日にこだわらず、10月から11月に家族が揃う吉日を選んで行う人が増えているようです。

七五三に欠かせない千歳飴は、飴を長く引っ張って作ることから「長寿」に通じる縁起物とされています。袋には縁起のよい鶴亀や松竹梅が描かれ、晴れ姿に千歳飴の袋を持つことが定着しました。お参りをした子どもが、長い袋を引きずるようにして歩く姿を見ると心が和みます。

一つひとつのことを調べながら、季節の移り変わりを大切にして、自然の恵みに感謝して子どもたちの成長を祈った先人の心を知りました。そして、このような伝統文化のある国に生まれ育ったということをあらためて自覚し、それを生徒たちに伝えていかなければならないと思います。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

私が生まれる3年前になくなった祖父がいました。会ったことのないその祖父が、樹徳高等学校創立者の野口周善先生です。私は今そのもとで生かされ生きているのです。

教育界ばかりでなく、寺院の世界においても、祖父は大善寺第20世住職、私が25世住職。また別の浄運寺では第28世住職、私が33世住職、この通り私は祖父の歩んだ道を同様に歩んでおります。

祖父は私が一番会わなければならない方だったと考えております。

この度、外部からの依頼がありまして、野口周善先生のことを改めて調べております。日記を見たり、写真を見たり、母から聞いた話を思い出したり、勿論学校の記念誌を何度もめくっております。

そんなことを繰り返していると、想像している人間像が動画のように動き出す感覚にかられるのです。(会えなかった人に会っている)

そして思うのであります。祖父周善先生のことをしっかり調べなければ、先生の生き様の一番の理解者にならなければ、先生の子供達は(私の父の姉弟)皆既に浄土へ旅立っております。このことは今の学園を預かる私の使命だと感じております。

新しい資料を発見しました。昭和8年の『上毛及上毛人』という雑誌に共生図書館の記事を見つけたのです。

「桐生の私立図書館 野口周善氏の奮発」こんな見出しです。

「私財を投じて設置計画中であった私立図書館は境内に新築なる。

鉄筋コンクリート2階建て、書庫、閲覧室、事務室も完成したので「共生図書館」の名称をもって、10月16日より一般に公開された。蔵書は約4000冊、仏教書を主とし一般向けには図書、新聞、雑誌類も備え、更に付帯事業に児童向けの図書も設備し、児童文化事業にも手を進められている。いまだ市内に独立した図書館が設けられず、市民からその実現が要望されながら市立図書館などはかけ声ばかりで一向にできそうもない折から、野口周善師個人の奉仕によるこの新図書館の実現は、各方面から大いに歓迎されている。」

(原文を現代仮名遣いに直し掲載)

ちなみに桐生市に市立図書館が完成したのは昭和10年であります。他にも見つけました。記事の切り抜きなので年代と新聞名が解りませんが。

「子沢山の人のために4月から託児所開始・・・浄運寺境内の明照保育園(明照保育園は大正4年に開園、これが樹徳幼稚園と明照保育園2つに分かれていくのです。)

桐生市本町6丁目浄運寺境内にて幼児の保育をしていた明照保育園が本年4月から託児所に変更され、子供のあるために思うように働けない人々の幼児を預かって昼間保育を開始するはずで目下その準備中である。

経営者たる野口氏のいわく

『我が桐生市は関東随一の機業地であって、全市ほとんどがこれによりて生活しているというも過言ではない。かかる土地柄なるに未だ1個の託児所もなく子供のある婦人は自らその子女を世話するため仕事の能率をさかれ、あるいは全く仕事のできない人が少なくない。これが個人の生計を不如意するばかりでなく、地方産業に及ぼす損失は蓋し莫大なものと思われる。』

このおき難い問題を解決するために託児所を開設する事に決したのである。

勿論場所は狭いし経費はないので何の設備もできないのは残念な次第であるが、追々何とかするつもりで努力しております。

入園御希望の方は遠慮なく御申し込みを願いたい。3月1日から15日まで受け付けます。従来幼稚園として幼児を託された方にはお気の毒ですが、一層必要の差し迫った事業に移るのでからご了解を願いたい』と。(後略)

(原文を現代仮名遣いに直し、句読点を加え掲載)

そして定員は70名、預かる時間は朝6時から夕方6時まで、この頑張り方はすごいのであります。更に驚く事は入園手続きの案内書の中に保育料は頂きませぬ。とありました。先生の決断力は相当のものであります。当時群馬県には託児所は前橋2箇所、高崎1箇所、大胡1箇所とこの新聞の中に書かれてあります。先生の先進性がうかがえます。

既に何度かご紹介しておりますが、次回は周善先生の生いたち、また数多い海外渡航のお話をさせていただきます。

合掌

「決めたことを変える勇気」

この樹徳高校にやってきて、半年が経とうとしています。大学で教育学を学び、今は英語の教師として日々、生徒と一緒に学んでいます。幼いころから英語教師になろうと決心していたわけではありません。

3歳のころに兄の影響で、エレクトーンという楽器を始めました。「私も音楽をやりたい」と初めて両親に話したときの両親の嬉しそうな顔は、今でもはっきりと覚えています。私は音楽の道に進むのだろうと誰もが思っていましたし、自分でも音楽の道に進むと決めていました。小学生のころは学校から帰ってくると、外から聞こえてくる近所の友達が遊んでいる声を聞かないようにしながら、練習に励みました。夏休みはコンクールに向けて夜までレッスンをする毎日で、唯一の楽しみはレッスンに行くときにコンビニに寄ってお菓子を買ってもらうことでした。レッスンでうまくいかず、迎えにきてくれたことに感謝もせず、レッスン帰りの車のなかで大泣きし、親にあたってしまったこともありました。中学、高校と同じような生活を送っていましたが、なぜ音楽をやめないのかと聞かれると当時は自分でも理由がわからず、悩みました。

高校に入り、様々な考え方をする友達に出会いました。そのなかの1人に、どのようなことにも興味をもち、失敗をおそれずに何でも挑戦するAさんに出会いました。新しいことに挑戦して失敗することを恐れ、長く続けてきていること以外のことには消極的になってしまう私にとって、Aさんとの出会いは大きなものでした。今でも頻繁に連絡を取り合う仲ですが、Aさんと出会ったことで私は音楽以外の道に進むことを決意できたのです。

私がずっと大切にしている言葉の1つに「無駄になる経験はない」というものがあります。これは私が幼いころから母に言われ続けてきた言葉です。ありきたりな言葉ですが、私はこの言葉に何度も救われ、背中を押されてきました。今までの自分を振り返ってみて、あの経験をしなければよかった、と思うものはありません。今の自分に直接的に関係のない経験であっても、必ず今の自分をつくる栄養になっていると感じます。高校生の時にAさんの行動がヒントとなり、この言葉の意味を理解してから、心が楽になりました。「今まで続けてきた音楽を職業にしないと頑張ってきたものが無駄になる、今まで熱心に教えてくれた先生方や助けてくれたたくさんの方々、常に支えて

くれている家族に対して失礼になる」という考えに固執し、音楽以外の道を考えることを無意識のうちに避けていたのではないかと気づきました。友達と遊んだり、家族と旅行に行ったりする時間を全て音楽に捧げたことも、レッスンを通してどうしたら自分が成長できるか悩んだことも、両親にあたって反省したことも、どの経験も音楽の道に進まなくても役立てられることに気づいたことで、本当に自分がやりたいことは何なのか、どのような方法で社会貢献することが私にはあっているのか、自分と正面から向き合うことができるようになりました。

私に音楽を教えてくださいと先生方と支え続けてくれた家族に、英語教師になるために教育学部に進みたいと話したのは高校3年生の時でした。今まで音楽を通して経験してきたことが音楽以外の道へ進んでも役立てられるとはいっても、できるようになるまで根気強く、感情的にならずに指導し続けてくれた先生方のことや、「私たちが我慢してでも子どもたちにはやりたいことをやらせたい」と喧嘩をしながらもレッスン代をやりくりしてくれた両親のことを考えるとなかなか打ち明けられなかったとともに、どのような反応が返ってくるのかが怖かったです。しかし、勇気を出して音楽以外の道に行くことを打ち明けたとき、反対した人は誰もいませんでした。「残念だけど自分が本当にやりたいことをあなたが見つけたことも、それを話してくれたことも嬉しいし、あなたの真面目さにたくさん刺激を受けた」と真剣な顔で話してくれた先生や、驚きながらも「それが悩んで出した結論なら応援するし、あなたが音楽を頑張っている姿から学ぶこともあった」と明るいう顔で話してくれた家族を見て、自分自身と関わった経験から他者が何かを学んでくれることもあるということに気づきました。

どの経験も必ずどこかで役に立ちます。まだ約23年しか生きていない私が言うのも生意気ですが、必ずいつか役立つときが来ると信じ、失敗を恐れずに挑戦してみてください。もし自分がした選択よりもよい選択があると思えば、気づいたときにまた新たな選択をすればよいのです。誠意をもって何事にも取り組んでいれば、周りの人も理解してくれますし、自分の姿を見て何かを学んでくれているかもしれません。無駄になる経験はないのですから。

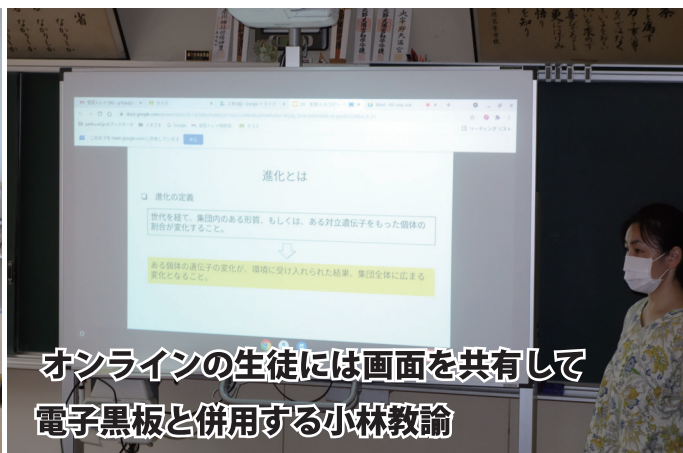
(英語科 野口 結加里)

オンライン授業でコロナ禍でも前へ！

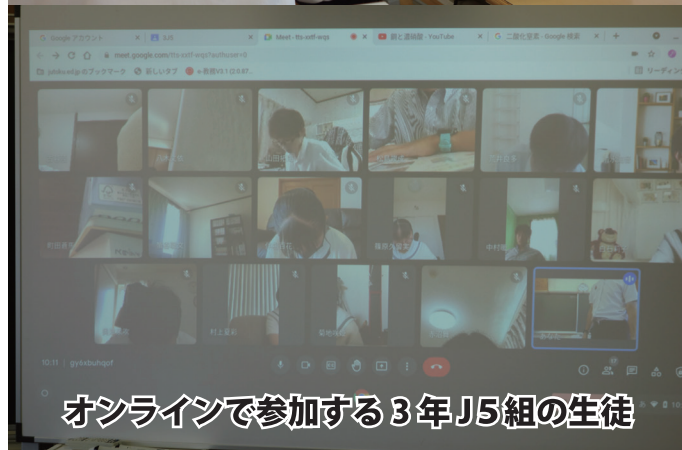
政府の緊急事態宣言の発令を受け、本校ではクラスをA班（奇数出席番号）・B班（偶数出席番号）の2つに分けて一日交替の分散登校を実施することになりました。よって、実際に登校する生徒は半数であり、その他の生徒は自宅でchromebookなどのICT端末を利用してオンラインで授業に参加します。コロナ禍に対応した学びの機会を確保し、確実に前へ進んでいく。それが本校の今の姿です。



教室にChromebook（右下）を置き、そのカメラを使用してオンライン授業に参加します。



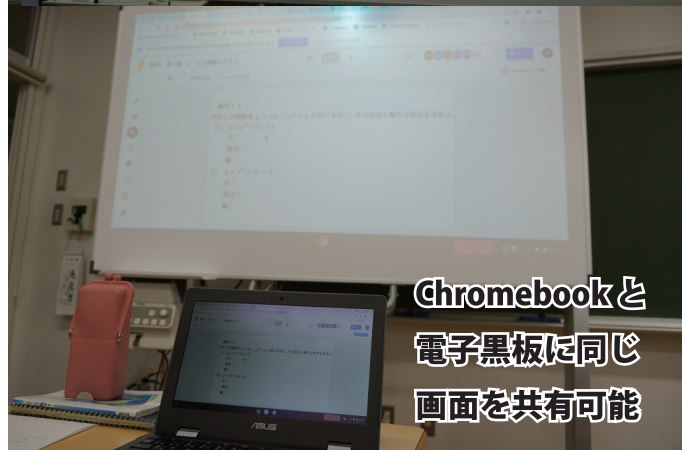
オンラインの生徒には画面を共有して電子黒板と併用する小林教諭



オンラインで参加する3年J5組の生徒



全員オンライン参加の授業も可能



Chromebookと電子黒板に同じ画面を共有可能



1年J2組 コミュニケーション英語Ⅰ
分散登校教室の様子



自宅にいる友だちとオンラインでつながれる



3年J5組 丹羽教諭の化学の授業

一貫校 **中学校** だより

見方を変える

澁谷校長先生のご逝去に伴い、新校長の補佐をする立場として副校長に就任いたしました辻村好一です。今までは中学校で5、6年生の物理を担当してきました。どうぞよろしくお願いします。

私は、「見方を変えると全て変わる」ということを感じながら今まで過ごしてきました。

時計の針も裏から見ると反時計回りです。「見方を変えることがとても大切だ」ということがたくさんあります。百メートル走を走っている人も、同じ速さで走るカメラで撮影していると止まっているように見えます。直ぐに飽きてしまう性格も、見方を変えれば諦めが良いということであり、広い視野で次のことを考えられれば長所になります。よく貼りつくのりの研究をしていたらあまり貼りつかないのりができてしまった。これは研究の失敗でなく、post it にしてしまおうと考えれば大成功なわけです。短所も見方を変えると長所です。失敗や災いも必ずしもマイナスだけではなく、むしろ次への大きな飛躍と捉えればプラスに転ずることも可能です。

さて、中学校では現在のコロナ禍で、緊急事態宣言中の授業は自宅学習、登校学習と隔日で実施し、自宅学習は全てオンライン学習としました。先生方の出張もオンラインの開催が多くなりました。特に東京で行われる予備校関係の模擬試験結果の説明などは、ほとんどがオンラインです。

そしてオンラインのツールも格段と進歩し、学校活動における利用が一年半前と比較し、質・量共に一段と充実しました。個人的な話ですが、私も、何十年も会わなかった大学時代の同級生と定期的にオンラインで会合するようになりました。

コロナ禍の副産物でしょうか。これらをプラスに捉え、学校行事なども、春の年度始切替で多忙な保護者は、卒業式や入学式を実況で見られるとか、希望すれば保護者との三者面接もオンラインで普通に行われる時代になるのではないかと思います。担任と生徒は学校で、保護者は家で双方向に話し合うという具合です。

世界中で試練を迎えているコロナ禍ですが、通り過ぎるのをじっと待ち、やがて通り過ぎれば今までになかった風景がひらけてくることになる、と期待しています。しかし、耐えている間に命を落とすようなことがあっては何もなりません。みんな、感染拡大にブレーキをかける行動をするとともに、自分の健康に充分注意する行動をしましょう。

副校長 辻村好一

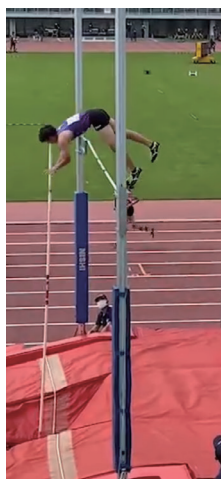
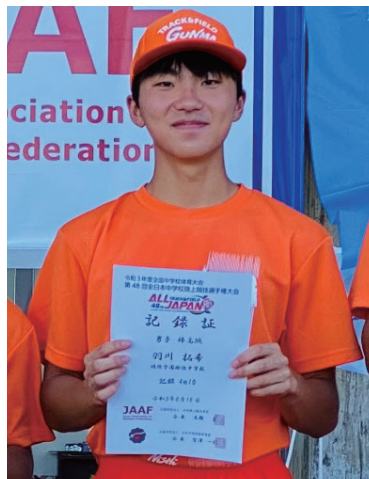
◆大健闘☆

全国大会棒高跳び 15位の成績

8月17日(火)～20日(金)に行われた、令和3年度全国中学校総合体育大会において、中学校3年生の羽川拓希さんが4m10の自己新記録の跳躍をし、全国15位の成績を残しました。

「1つのことに熱中し、やり遂げることの大切さ、大変さ、達成感などを、部活を通して学んだ。そして、自分が頑張ることで、家族、先生、友人、支えてくれる周りのありがたさに気付くことができた。だから今後も引き続き何事も精一杯取り組んでいきたい。」と語る羽川さん。

今後の飛躍・活躍が楽しみです。



そして、今後の陸上部、さらには、自分の能力を高めようと努力している中学校の部活動の部員たちにもご注目いただけたら幸いです。

◆2学期がスタート!!

緊急事態宣言中の2学期の始業式となりました。

しばらくは1・4・5年生、2・3・6年生に別れて分散登校です(9/1現在)。在宅日はオンライン授業となり、ICTを活用し、生徒と教員が双方向で授業ができるよう、取り組んでいます。

色々なことが制限されるコロナ禍です。様々なことができない今ですが、そればかりに囚われすぎると、息苦しくなってしまいます。だから、今できること、これからしたいことの方に目を向け、希望を持ち、少しでも前進できるよう、みんなでコロナ禍を乗り越えていきたい、とオンライン授業を通して感じました。



幼稚園だより

◆日頃から災害に備えて

よく子どもの頃、「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉を耳にしました。この警句を残したのは、戦前に物理学者・防災学者・随筆家として活躍した寺田寅彦氏であると言われています。寺田氏が活躍した当時は、東京を火の海とした関東大震災がありました。

「天災は～」という言葉は、『地震や、台風などの風雨による災害は、その被害の恐ろしさを忘れた頃に再びやってくるので、いつ地震や台風がやってきてもいいように、日頃の用心を忘れてはいけない』という、いましめのようなのです。しかし、このところ、大きな自然災害は、忘れないうちにやってきました。平成7年に起きた阪神・淡路大震災、平成23年に東日本大震災、平成28年に熊本地震といったように、この25年間で三つの大きな地震災害が日本で起こっています。そして、この三つが示すように、どこで地震災害が起こるか分からない状況です。また、最近では、地震だけでなく水害も心配な災害の一つです。過去には、昭和22年9月15日の関東を襲ったキャサリン(カスリーン)台風で、樹徳高校校舎の一部が流出し、その頃隣接して建てられていた幼稚園が流されてしまうといった大きな被害もありました。この台風では、桐生市内が大惨事となりました。



『地震発生』机の下に身を隠して

そのような災害に備え、幼稚園では、9月2日(木)に、地震が起きた時のことを想定して避難訓練を実施しました。事前に各学級で、地震が起きた時にはどのように行動するかを指導し、その中で、押さない、かけない(走らない)、しゃべらない、戻らないの合い言葉「お・か・し・も」についても伝えておきます。そして、訓練当日の地震が起きる想定の日。非常ベルが鳴ります。子どもたちの顔には緊張の様子が見られます。先生の指示に従い、子どもたちはテーブルの下に。しばらくすると、「地震が収まりました。先生の指示に従って、園庭に避難してください。」という園内放送が

入りました。そこで、各学級ごとに避難行動。全員が外に避難し、安全が確認された後、遊戯室で園長の話を聞いたり、紙芝居を観たりして、避難訓練のまとめをしました。

最近、毎日のように全国至る所で地震が起きています。いつ自分たちが住む地域で大きな地震が起きるか分かりません。各ご家庭でも、もし避難が必要な地震が起きたらどこに避難するかなど、家族できちんと確認しておくことが大切です。幼稚園でも、日々子どもたちに危険回避能力を育てていきたいと思っています。



書道展に向けて練習中!

◆頑張って書道に挑戦!

桐生仏教会主催による夏休み子供書道展に、年中・年長の子どもたち29名全員が応募しました。普段は鉛筆を持ってひらがなを書くのも難しい段階ですが、課題である「え」の文字を、墨で手を黒くしながらも、一生懸命練習を重ね、何とか形を整えることができました。その結果、本園より特別賞1名、秀作5名の計6名が入賞いたしました。

今年は、コロナ禍で本県が非常事態宣言の対象地域になってしまい、予定された有隣館での作品展示や表彰式が中止になってしまいました。しかし、仏教会の役員の方々が、応募者全員の作品をWEB掲載という形で公開してくださり、保護者の方も作品を閲覧することができました。また、入賞した子どもたちには、始業式の後全員の前で表彰式を行い、園長が代わって賞状を授与しました。入賞した皆さん、おめでとうございます。

園長 佐野悦生



運動会に向けて頑張っています

入園児募集中

◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。

◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名

◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。

<お問い合わせ>

住所：桐生市広沢町三丁目4475番地

TEL：0277-53-5571

ホームページ <http://www.jutoku.ed.jp/kinder/>

10月(正念)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	金	更衣 校内安全点検 関東地区私学教育研究集会(～2日)	更衣 校内安全点検日 頭髮服装指導	衣替え 安全点検日
2	土	英語検定②一次 3年生ベネッセ・駿台記述模試②	学校説明会② 英語検定 市総体(駅伝大会)	開園日(預かり保育)
3	日			
4	月	LHR 学年主任会⑥ 後援会役員会②会計監査		リズム(全)
5	火	授業料・第2回諸費納入日 マイトリー抛金日 プレテスト打合せ(16:00～)	薬物乱用防止教室	読み聞かせ(西山先生)
6	水	市街地清掃(通算95回) 県校長会 中間試験(～8日)	中間試験(～6日)	英語(全)
7	木	3年生自動車免許教習解禁		運動会予行演習 体育(全)
8	金	大掃除 中学生入試体験プレテスト会場作成	マイトリー抛金日 漢字検定	運動会前日準備 保育料納入日
9	土	職員出勤日 中学生入試体験プレテストA日程		運動会
10	日	中学生入試体験プレテストB日程		運動会予備日
11	月	10/10振替休日	振替休日	運動会振替休業日 開園日(預かり保育)
12	火			
13	水	教育連携講座⑫ 地震防護・火災避難訓練		英語(全)・文字(年長)
14	木	日私中高連協会・事務局長会議	医系進学講座⑥	体育(全)・文字(年中)
15	金	中学生入試体験プレテスト予備日会場作成 県私学保護者連合会理事(高崎商科)	ミニマナーアップ運動	
16	土	オープンスクール(部活動) 後援会研修旅行	中学校模試② 数学検定②	開園日(預かり保育)
17	日	中学生入試体験プレテストB日程予備日		
18	月	LHR 教育連携講座⑬ 教科主任会⑤ 中学生保護者学校見学会(～20日)	朝礼	教育実習生受け入れ(～11/1) リズム(全)・線(年少)
19	火			読み聞かせ(西山先生)
20	水	教育連携講座⑭ 関東高P連役員会(～21日)	合唱コンクール(4年生)	英語(全)・文字(年長)
21	木	全国私学教育研究集会(秋田)(～22日) 1年生校外学習(大川美術館)1J1・1J2		体育(全)・文字(年中)
22	金	県高P連東毛地区指導者研究集会(桐生市市民文化会館) 漢字検定② 1年生校外学習(大川美術館)1J3・1J4	論理文章能力検定	開園日(預かり保育)
23	土	オープンスクール		
24	日	3年河合塾全統記述模試③ 1・2年ベネッセ実力診断(課外受講者)		
25	月	朝礼 制服アフターサービス 教育連携講座⑮	中学合唱コンクール	リズム(全)・線(年少)
26	火	1年生校外学習(大川美術館)1J5・1J6		
27	水	教育連携講座⑯ 3年河合塾全統共通テスト模試 1年生校外学習(大川美術館)1S5・1K・1S		英語(全)・文字(年長)
28	木	群馬県民の日	群馬県民の日	群馬県民の日
29	金	出欠統計提出 県高校総合文化祭開会式(オンライン) 3年河合塾全統共通テスト模試(～30日)		
30	土	SS組入試説明会		開園日(預かり保育)
31	日			

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況により予定が変更されることがあります。

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

社会保険労務士による「無料相談会」
働き方改革、年金相談、労働問題等
10月2日(土) 10:00～15:00
杉戸 健二さん 他

フジテレビ「有吉ダマせたら10万円」

10月16日(土) 21:00～23:10

本校所蔵、相田みつを先生の作品が番組で使用されます。

11月(正定)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	月	LHR 校内安全点検日 教育連携講座 2年生修学旅行事前指導①	校内安全点検 頭髪服装指導	安全点検日 リズム(全)・線(年少)
2	火	私学教科研修(健大高崎高校)		避難訓練(火災)
3	水	文化の日	文化の日	文化の日
4	木	3年ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試(～6日)		サツマイモ掘り(全) 体育(全)・文字(年中)
5	金	授業料納入日 合唱コンクール		お誕生会(10・11月生)
6	土	1・2年ベネッセ総合学力テスト	第一期中学入試	開園日(預かり保育)
7	日	英語検定②二次	英語検定②二次	
8	月	LHR 2年生修学旅行事前指導② 学年主任会⑦ 教育連携講座 マイトリー抛金日	朝礼	教育実習生受け入れ(～11/19) リズム(全)・線(年少)
9	火			卒園・終章写真撮影 読み聞かせ(西山先生)
10	水	日私中高連常任理事会 教育連携講座		保育料納入日 英語(全)・文字(年長)
11	木		マナーアップ運動	体育(全)・文字(年中)
12	金	中高協会定例会(育英) 県高P連指導者研究集会(前橋デルサ) 書写技能検定②	マイトリー抛金日	焼き芋会
13	土			開園日(預かり保育)
14	日			
15	月	朝礼 マナーアップ運動③ 運営委員会④ 制服アフターサービス	三越アフターサービス	七五三祝い リズム(全)・線(年少)
16	火			ボール投げ教室
17	水			英語(全)・文字(年長)
18	木			体育(全)・文字(年中)
19	金	2年生修学旅行事前指導③		ザスパマイルキッズキャラバン(年中・年長)
20	土			開園日(預かり保育)
21	日	2年生修学旅行1班(北陸方面、～23日)		
22	月	LHR 平和学習(1年生) 教科主任会⑥ 2年生修学旅行2班(北陸方面、～24日)	朝礼 5年生修学旅行2班(北陸方面、～24日)	リズム(全)・線(年少)
23	火	勤労感謝の日	勤労感謝の日	勤労感謝の日
24	水	3年河合塾全統プレ共通テスト模試(～25日, 27日) 2年生修学旅行1班振替休日	医系進学講座⑦	英語(全)・文字(年長)
25	木	2年生修学旅行1・2班振替休日	5年生修学旅行振替休日	体育(全)・文字(年中)
26	金			
27	土			茶臼山親子登山
28	日			
29	月	LHR 3年SSKS組三者面談(～12月3日)		親子登山振替休日 開園日(預かり保育)
30	火	期末試験(～12/3) 出欠統計提出	期末試験(～12/3)	読み聞かせ(西山先生)



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく